

# 能楽師と猫

「猫びより」編集部は交通量の多い早稲田通りに面している、車の音が絶えることはありません。しかし、ひとつ脇道に入ると閑静な住宅街が広がり、路地では昼寝する猫も見かけます。そんな住宅街の中にあるのが、矢来能楽堂。

矢来能楽堂は能楽の観世流一派で、矢来観世家が主宰する観世九阜会の能楽堂です。その観世九阜会のHPに、一風変わった(?)コーナーがあります。矢来観世家の五代目である能楽師、観世喜正さんの紹介を猫がしているのです。その語り口は軽妙で、主人の紹介と言いつつも自己紹介は長いし、途中で食事や毛繕いをしたりと、いかにも猫的な楽しい内容になっています。今回はその語り手である福助くんご主人の観世喜正さん

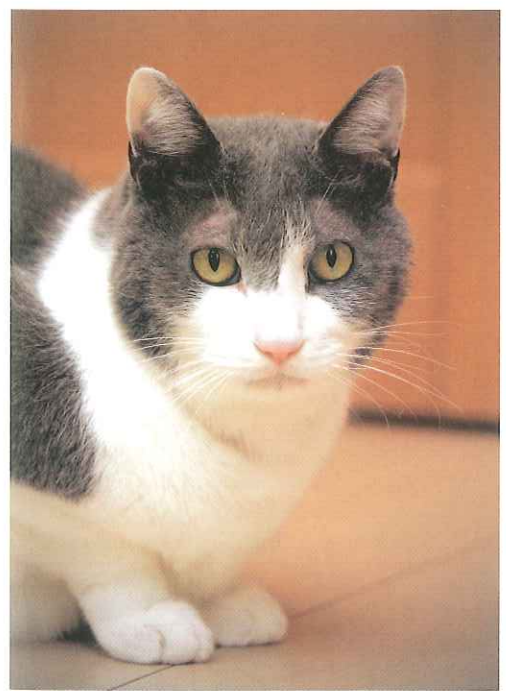
に会いに行きました。

稽古場にお邪魔すると、早速、福助くん(11歳♂)が登場。不審物とばかりにカメラマンの荷物の匂いを確認した後はもう、こちらには興味なさそうに鏡の前で毛繕い。そして、長持ちの上に座り、話の受け答えをチェックするかのよう、観世さんを後ろから見つめています。

福助くんは観世さんにとって初めての猫。結婚してまもない頃、奥様の妹さんがゴミ捨て場にいた子猫を保護したのですが、妹さんご主人が猫嫌いだったので、しばらくの間は互いの家を行き来していましたが、箱に入った子猫を最初に見せられたとき、観世さんは「このコはうちに来る」と予感したそうです。そして、その予感通り、観



世さんの家に落ち着くことになったのが福助くんです。いかにも能楽師の猫らしい名前ですが、実は命名は動物好きの奥様。奥様は「猫の名前は和風じゃないとだめ」という考えをお持ちで、このコにこれからは福がたくさんありますように、という思いから命名されました。当時は手のひらに乗る大きさだった福助くんも、今や体



▲白とグレーのキレイな毛並み。でも、毛がちよっと長いので暑がりだそうです ▶観世喜正さんと福助くん



A 後ろから話をチェックしている(?)福助くん  
B 鏡の前で身だしなみ整え中  
C 怒ると怖い福助くん。鼻と肉球を真っ赤にし、瞬みついて離さなくなるとか……  
D 能のセリフとコーラス部分を独自の節に合わせて歌う「謡」と、見せ場となる部分の舞を装束を着ずに演じる「仕舞」のお稽古も実施しています。初心者向けの講座で、着物でなくても参加できます。私も挑戦してみました!!  
●お稽古のお問合せ:のうの事務所  
TEL 03-3266-1020  
(平日11:00~18:00)

重7キロ。小さい頃は着物を着付けていると腰紐にじゃれてきたのに、今ではそんなのは子どもの遊びと見向きもしなくなり、貫禄十分な体格で窓の外を通る近所のボス猫を威嚇しているそうです。普段は家から出ない福助くんですが、八ヶ岳にある練習所も兼ねた別荘に連れていくと野性が目覚めるのか、毎日のように狩りをして獲物を持ってきては、観世さんをぎよっとさせています。「ずっと都心に住んでいたのに、生きたへびなんか見たことがなかったんですよ。福助が啞えてきたのを見たときは「ぎゃーっ」と叫んで寝たふりをしてしまいました。へびは結局、奥様がパーベキュー用のトンダで挟んで外に逃がしたとのことでした。

福助くんがHPに登場してからというもの、今まで能に興味がなかった人からの反響も寄せられるようになったそうです。能を多くの人に知ってもらいたいと考えている観世さんにとって、福助くんはまさしく「福猫」だったので。



矢来能楽堂 毎月1回の定例公演のほか、能・狂言の公演を開催。公演情報などについては観世九阜会事務局にお問合せ、またはHP「かんぜこむ」をご参照ください。※能楽堂に猫はいません。  
東京都新宿区矢来町60 TEL03-3268-7311  
かんぜこむ <http://www.kanze.com>